

令和6年9月10日

第2回東京都エネルギー問題アドバイザーボード

午後 5 時 32 分開会

【田中局長】

それでは、これより令和 6 年度第 2 回東京都エネルギー問題アドバイザーボードを開会いたします。

東京都産業労働局長の田中でございます。議事が始まりますまでの間、進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、大橋委員、竹内委員におかれましてはオンラインにて、そのほかの 4 名の委員の皆様方にはご出席いただいております。オブザーバーとして、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部水素・アンモニア課長の廣田様にもお越しいただいております。また、有識者ヒアリングにおけるゲストスピーカーとして、一般財団法人日本エネルギー経済研究所の土井様にもご出席いただいております。ありがとうございます。

初めに、小池知事からご挨拶をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【小池知事】

皆様こんにちは。本日は、令和 6 年度で第 2 回になります東京都エネルギー問題アドバイザーボードの会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

前回の会議においては、エネルギーの需給、そしてまた水素の利活用などに対しましての様々なご意見を頂戴したところでございます。

それにしても、この夏の気候も、これまで経験したことのないという、気象庁が必ず頭につけるぐらい、本当に予想がつかない、また、想定をはるかに超えるような被害をもたらし、また、台風 10 号にしましても、最後は消えてなくなりましたけれども、みんなそれに備えて緊張したわけでもありません。続く第 11 号は、今度はアジアで猛威を振るって、そして今、映像でもいろいろ流れて、台風も頻発化——頻発でもないんだな、今で 11 号ですからね。年によりますけれども、でも強靱化していることは変わらないし、その行き先なども本当になかなか予想もつきにくいというようなことでございます。いずれにしても、猛暑日が非常に多かったということ、熱中症の警戒アラートなども、都としてもいろいろ出し方とか、そのワーニング、実際何をしたらいいのか等々、エネルギー事情の厳しい中で、どうやってエアコンを使っていたらいいかとか、なかなかメッセージの出し方も工夫が必要だったということでございます。

ということで、今、総裁選がにぎやかに、また代表選が行われるということでございますけれども、今日の夜にはアメリカの大統領選のテレビ討論など、どうなるのかなと、これもエネルギー問題、中東情勢にも絡んでくるということで、何かと気候変動だけではなく、国際情勢も予想がつかないような状況になってきているかと思えます。

さて、エネルギー消費、最大の消費はこの東京でございます。その中でエネルギーをどう確保し、そしてまた経済活動や都民の生活が安心に、また持続可能な成長を続けるためにはどのような形がいいのかということで、様々な観点からご議論いただいているところでございます。

再生可能エネルギー、また省エネの普及拡大など様々な課題があるわけですが、いずれにしてもスピード感を持って当たっていかねばならないということでございます。そしてまた、皆様方にご議論いただいております脱炭素の切り札である水素でございますけれども、ビジネス展開への動きは世界各国で本格化しているという状況でございます。都としまして水素の利用、そして活用を進めるということで、「つくる」「はこぶ」「つかう」という取組を戦略的に展開して、また世界をリードする水素社会を実現したいと、このように考えております。

エネルギーの需給、そしてそのトランジション、水素の利活用などに関しまして、皆様方のご見識、情報、またこれまでの様々な分析、考察、展望、幅広く論じていただければと思います。忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願いいたしますを申し上げます。

長くなりました。失礼いたしました。

【田中局長】

ありがとうございました。本日も委員の皆様にご協力いただきまして、実りある議論を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

知事は、都合によりましてここで退席いたします。

(知事退席)

【田中局長】

また、報道関係の方におかれましては、事前にご案内いたしましたとおり、公開はこちらまでとさせていただきます。こちらで皆様もご退室をお願いいたします。

(プレス退室)